

講義名	課題演習（ファイナンス）		
科目区分	実学系演習科目		
担当教員	井上 定子		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
	2018年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2017年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2016年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2015年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース）		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	33502

### 主題と概要

一般に会計とは、営利を目的とした企業が行う経済活動を財務的な側面から捉え、財務諸表を作成し、開示する手続きをいいます。本講義では、投資者や債権者といった企業外部の利害関係者の意思決定に役立つことを目的として会計情報を作成する財務会計について取りあげます。なお、本講義では課題演習を中心に行うため、財務諸表の読み方やその分析指標の理解はもちろんのこと、それらの基礎知識を用いて、実際の企業の財務諸表を分析します。

### 到達目標

会計情報は、簿記システムに基づいて記録および集計され、会計制度上の制約のもとで、貸借対照表や損益計算書といったような財務諸表に集約されます。本講義の目標は、このように作成された財務諸表の読み方やそれを分析する指標の基本的理解と、かかる基礎知識を踏まえて、実際の企業の財務諸表を分析し他の企業と比較検討する能力を身につけることです。

### 提出課題

講義内容の理解度により、適宜実施することがあります。

### 評価の基準

中間試験（30%）  
 定期試験（40%）  
 講義への貢献度（30%）：講義への参加意欲、受講態度や発言など

以上の3項目を加味して最終評価を行います。

なお、中間試験および定期試験については、記述式試験あるいはレポート試験のいずれかで実施する予定です。

### 履修にあたっての注意・助言他

簿記の基礎知識（日商簿記検定3級程度の知識）があること、あるいは、前期開講（木曜日の2限）の財務会計特論を受講していることが望ましい。

### 教科書

使用テキストは現在未定です。講義中に指示します。

### プリント資料及び参考文献

プリント資料は、適宜講義中に配布します。  
 また、参考文献は、適宜、講義中に紹介します。

### 授業計画

1. ガイダンス - 社会と会社
2. 損益計算書、貸借対照表および附属書類の見方と企業活動
3. 企業立場からの収益性分析と株主の立場からの収益性分析
4. 利益率の分析
5. 回転率の分析
6. 収益性の分析のまとめと復習
7. 安全性の分析（その1） 短期の安全性の分析
8. 安全性の分析（その2） 長期の安全性の分析
9. キャッシュフロー計算書による分析
10. 安全性の分析のまとめと復習
11. 企業価値の分析 投資の分析
12. 企業価値分析のまとめと復習および、これまでの総括
13. 財務諸表分析のまとめと復習
14. 財務諸表分析の実践（1）
15. 財務諸表分析の実践（2）

\* 講義の進捗度により上記の計画が前後することがあります。

### 予習・復習

予習  
 必ず、講義を受ける前に当該資料やテキストを読み、疑問点や質問を考えてきてください。

復習  
 講義中に、講義内容の理解を確認するために演習課題を実施することがあります。これを自身の理解度を確認する目安に

### 備考